

第13回雪のラブレター募集(入賞作品)

【恋文の部】

賞	最優秀賞
作品	思い出は何もないままさよならのはずだったのに雪が降り出す
作者	千葉昌美
住所	大阪府
講評	少ない言葉で切り取られた情景が切なくも美しく、何度も読み返して想像力をかき立てられました。温かい愛も激しい恋もいいけれど、こんな冷めた視点から語られる「終わりかけの恋」もまた、雪のラブレターらしい作品といえるのではないのでしょうか。

賞	優秀賞
作品	数十年ぶりに雪を転がす。きみの頭はやわらかすぎて、ぼくの体は少しイビツで、個性的な雪だるま。ケラケラ笑うきみでよかった。
作者	宮嶋 浩
住所	新潟県
講評	「数十年ぶり」というのがこの作品のミソ。いい年をした二人が笑いながら雪だるまを作る様子が微笑ましく、「ケラケラ笑うきみ」がきつととても魅力的な人なんだろうと思わせてくれます。
作品	とうちゃん、元気だべが。雪、積もってだべな。んでも気もまねでけろ。家のまえの道さえ細こぐ作ておぐだけでいいがら。屋根さなんか絶対上らねでな。私ばりこだい暖かい病院さ入院してでごめんな。遠くて雪道大変だがら、来ねでけろ。早く治っだいちゃ。
作者	けい
住所	山形県
講評	作者は地元の方でしょうか。雪国のお婆ちゃんという言葉が訛りもそのままに再現され、夫を思う優しさに胸が締め付けられました。

賞	佳作
作品	親元を離れ、雪国の大学に通って初めて冬。突然の大雪、一晩で50センチ積もった。朝、驚く僕に地元の君は、「こんなところ、ずっと暮らしたくないって思ったでしょ」と聞いた。あの時すぐ「そんなことはないよ」って答えていたら、今も君と一緒にいたのかな。
作者	しむらむし
住所	愛知県
作品	「待った？」「いや、今来たんだ」。目を下にやればあなたの足跡を雪が消し去るところ。優しい嘘をありがとう。
作者	十六夜
住所	神奈川県
作品	しんしんと一人がこんなに寒いとは早く帰って来いと指おる年の瀬
作者	竹島 信義
住所	大阪府

選者： 岡崎由紀子（日本脚本家連盟理事、東京都武蔵野市在住。映画「アイ・ラブ・ユー」、テレビドラマ「警視庁捜査一課9係」、「水戸黄門」、「かりゆし先生ちばる！」などの脚本を担当。また、舞台「オペラジャンヌ！」では脚本に加え演出も担当している。）

応募作品数：532作品